COM+S コムズ

Vol.46
情報誌［コムズ］
COMMON COMMUNICATION COMPANION

みんながつながって
生きているんだね。

P.2-3 つながろう つなげよう 男女共同参画の輪
P.4-5 平成 24 年度 年間スケジュール
P.6-7 地域の防災力を高めよう
～今、求められる女性のチカラ～
P.8 コムズご利用ガイド

What's コムズ?

COMMON（共通の）、COMMUNICATION（コミュニケーション）、COMPANION（仲間）の接頭語「COM-（コム）」は"共に"という意味です。これを複数形にすることにより、男女を問わず多数の人が集う場所を表現しています。「+S」は男女みんな（複数）の平等と、プラス思考、プラスαなど、知り学び、創造し、伝えていく、前向きな姿勢を表現しています。

松山市男女共同参画推進センター・コムズ

つながろう つなげよう 男女共同参画の輪

松山市男女共同参画推進センター・コムズでは、平成24年度から26年度の3ヵ年
「つながろう つなげよう 男女共同参画の輪」をテーマに掲げ、さまざまな事業を展開していきます。このテーマには、

まだコムズと「つながっていない」人は、これからコムズと「つながろう」
誰とも「つながっていない」人は、これから誰かと「つながろう」
コムズと、誰かと「つながったら」、今度は自らアクションを起こして、他者と他者を「つなげよう」
そうして、**「男女共同参画の輪」を広げていこう**

という願いを込めています。そこで、コムズをさまざまな形で利用されている皆さんに、
コムズとの出会いをきっかけに、どのように人とつながり、ご自分の活動の幅が広がっていったのかお伺いしました。

パ パ講座に参加して考え方が変わった!

中野 裕志さん

Q1 コムズと出会ったきっかけは?

初めての子育てで、子どもとの接し方がよくわからなかった頃に、コムズ主催の「目指せ!子どもと仲良しパパ」という講座を『広報まつやま』で見つけ参加しました。

とてもためになる内容だったので、次の年の「お父さんのための創作工房」(P.5★❶をご覧ください)にも参加しました。

Q2 講座に参加して、何か変化はありましたか?

専門家の方の話を聴くことにより、子どもに対する見方やかかわり方が変わりました。接し方ひとつで子どもの反応が全然違ってくるのを実感でき、なかなかなついてくれなかった娘が今ではパパっ子に。また、講座終了後、そこで知り合ったお父さん同士の集まりもあり、新しいつながりができたなと感じています。

Q3 中野さんが考える、女性も男性もいきいきと生きられる社会とはどんなものですか?

どんなことでも夫婦、男女が一緒になってやっていくことが大切なことだと思います。

例えば子育てだと、それは夫婦の共同作業だと思います。わが家の場合、平日の子育ては妻がずっとしています。妻が一人になれる時間をつくってあげたいので、土曜日は自分が娘と遊び、日曜日は家族3人で出かけています。そうでないと妻もしんどいと思うからです。逆もまたしかり。そのためには、会話をして、お互いが相手のことをきちんと思いやることが大切だと思います。

自 らの体験を“伝える”ことでつながることができた!

鈴木 こころさん

Q1 コムズと出会ったきっかけは?

20代の頃、摂食障がいの体験を新聞に投稿していて、それを読んでくださった方がいました。その方からご連絡があり、コムズフェスティバルで自分自身の体験を語る機会を頂きました。その後、自助グループを始めたいという思いから、コムズの市民活動支援事業(P.5★❷をご覧ください)に応募して、摂食障がいを持つ女性の自助グループである「リボンの会」を立ち上げました。

Q2 活動を始めていく中で、どんな変化がありましたか?

引きこもっていた自分に社会とつながるきっかけができて、少しずつ外に出ていけるようになりました。通院したり服薬したり、何十冊もの本を読んだけど、変わらなかった摂食障がい。それが、コムズをスタート地点として活動を始め、さまざまな人と出会い自分の考えの幅が広がり、少しずつ回復に向かい始めました。

私はたくさんの方に支えられ助けられた。それを直接その人たちにお返しすることはできないけれど、その分、リボンの会の活動をがんばりたいと思っています。

Q3 鈴木さんが考える、女性も男性もいきいきと生きられる社会とはどんなものですか?

すべての個人が、自分の能力を発揮できていて、自分の人生に納得すれば、他人を受け入れる気持ちの余裕ができるのではないかと思います。大人も子どももみんなそれぞれそうなれたら、その個人からつながる他の人たちにも、きっと、連鎖のようにいい影響を与え合っていけると思うんです。そうやって、みんながつながっていられる社会は、困ったことがあったとしても…例えば、摂食障がいになっても、安心して自分の人生を再生できる=女性も男性もいきいき生きられる社会だと思います。

学 生時代でやめていたボランティア活動を再開!

河野 恵里さん

Q1 コムズを知ったきっかけは?

コムズに併設されている新玉児童館を利用していた友人からの紹介ですが、その後、コムズが貸室をしている(P.8をご覧ください)のを知り、フラワーアレンジメントサークル「スイートピー」として利用するために、コムズの登録団体になりました。

Q2 コムズを利用するようになって、どんな変化がありましたか?

今年のコムズ登録団体イベント「コムズde遊ぼう」に参加して、長年の夢だったフラワーアレンジメントの展示会を開催することができました。コサージュ作りやフラワーチャリティーオークションも行い、お花の仲間をはじめ皆さんに喜んでいただいて、とても幸せな気持ちになりました。

また、他の参加団体の方から声をかけていただき、学生時代にかかわったボランティア活動を再開することになりました。学生時代、ある児童養護施設を数回訪問しただけでやめてしまい、そのことをずっと後悔していました。その同じ施設を対象とする活動の声かけでしたので本当に驚きました。人とのつながりがきっかけで、長年の心残りが解消されるなんて、1年前の自分は想像もしていなかったことです。「つながり」って本当にすばらしいなと思います。

Q3 河野さんがこれからやっていきたいことを教えてください。

今年の“まつやま子どもの日”を皮切りに児童養護施設の子どもたちにフラワーアレンジメントの楽しさを知ってもらう活動を始めます。子どもたちとふれあい、子どもたちとともに成長していきたいと思います。そして、私のような人間を必要としていただけるなら、喜んでみんなの輪の中に入っていきたいと思います。

自 分たちの思いを社会に伝える場ができた!

江戸 康敏さん

Q1 コムズと出会ったきっかけは?

NPO活動を始めるにあたり、「まつやまNPOサポートセンター」が入っているコムズに出かけるようになりました。そこでコムズフェスティバル(P.5★❸をご覧ください)の市民企画分科会を募集しているのを知り、応募したのが始まりです。

Q2 どんなNPO活動をしているのですか?

同性愛や性同一性障がいなど、さまざまな性的少数者が自分らしくいきいきと生活できるような社会をめざして、「レインボープライド愛媛」という団体として、当事者同士の交流会や市民理解を進めるための映画祭・トークイベントなどを開催しています。

Q3 コムズを利用し始めて、どんな変化がありましたか?

自分たちの課題は表に出してはいけないものだと思ってきましたが、コムズでの活動で「そんなことはない」「光が当たってもいいんだ」と後押しをしてもらえたので自分たちのことを伝えていけるようになりました。すると、共感や応援してくれる人が思いのほか多くいることに気づきました。それに気づかせてもらえていることが、とても大きな支えになっています。

Q4 江戸さんが考える、女性も男性もいきいきと生きられる社会とはどんなものですか?

一人ひとりが大切にされ、性差に関係なく自分らしく生きられると同時に、多様性を受け入れる社会だと思います。仲間の中には、自分らしく生きるために都会に出る人がいる。外にそれを求めるのではなく、自分の故郷である松山の地が、多様性を受け入れることのできる街、誰もが住みやすい街になることを願って、これからも活動を続けていきたいと思います。

あなたも、誰かとつながるきっかけの一つとして
松山市男女共同参画推進センター・コムズを活用してみませんか?

Reporter's eye —取材を終えて—

今回ご登場する4名の皆さんに共通するのが、つながりを継続させているということ。網の目のように広がっているつながり。
コムズでは日々そんなつながりが生まれているのを感じました。

(市民リポーター 菊池 古都)

平成24年度

年間スケジュール

コムズでは、男性も女性もともにいきいきと暮らすことのできる社会づくりをめざして、さまざまな事業を行っています。

「つながろう つなげよう 男女共同参画の輪」

事業	対象	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
コムズフェスティバル	どなたでも		6/23㊏ 市民企画分科会 公募説明会		企画募集	公開発表会				1/20㊐ コムズ登録団体イベント「コムズde遊ぼう」		1/26㊏・27㊐開催 第14回コムズフェスティバル 基調講演、市民企画分科会などコムズ最大のイベントです！ ★❸	
講座・セミナー	どなたでも			7/12㊍・7/19㊍・7/26㊍ 人材養成講座「自分らしく働く、自分らしく生きる」 全3回、午後・夜間コース	7/28㊏ 公開講座	8/30㊍ 交流会「高齢社会をよりよく生きる」			11/17㊏・24㊏ DV防止学習会 全2回	自己表現講座 全3回			
	女性			9月下旬～11月の土曜日開催「働くママのためのしゃべり場・ほっと＋（プラス）」 全4回									
	男性									パパ講座 全3回 ★❶			
	シニア			6/20㊌・6/27㊌・7/4㊌・7/11㊌ いきいきセカンドライフのススメ 全4回									
	学生									コムズ白熱教室			
	親子					親子でトライ!「ママとサイエンス」夏休み中開催							
映画上映会	どなたでも			6/28㊍ 映画上映会＆シネマカフェ 上映作品「ココ・アヴァン・シャネル」					映画上映会＆シネマカフェ			映画上映会＆トーク	
講師派遣	企業・市民グループ	随時受付中（予定数に達した時点で受付終了）											
市民活動支援◆	市民グループ等	助成金申請　随時受付中（予定数に達した時点で受付終了） ★❷											
まつやま ファミリー・サポート・センター	提供会員になりたい方（新規登録のための初級講習会） 育児			6/12㊋・13㊌・14㊍・15㊎・19㊋・21㊍			11/13㊋・14㊌・15㊍・16㊎・20㊋・22㊍				2/19㊋・20㊌・21㊍・22㊎・26㊋・28㊍		
	提供会員になりたい方（新規登録のための初級講習会） 介護			6/19㊋・20㊌・21㊍			11/20㊋・21㊌・22㊍				2/26㊋・27㊌・28㊍		
	提供会員・依頼会員（レベルアップ講習会）			7/3㊋ 育児 1回目	7/31㊋ 介護 1回目		9/28㊎ 介護 2回目		11月上旬 育児 2回目				
	どなたでも		5/19㊏ 全体交流会（事例発表・人形げきや ぷか）										

ほっと＋（プラス）

ママとサイエンス

パパ講座

コムズ白熱教室

今年度の全体交流会

スケジュール中の★について…

P.2、3にご登場の方々が昨年度参加された事業です。

★❶ 中野さん（P.2）　★❷ 鈴木さん（P.2）　★❸ 江戸さん（P.3）

◆市民活動支援

対　象：市民グループ（個人申請も可）

コムズでは、男女共同参画の推進に取り組む市民の皆さまのさまざまな活動を、助成金（対象経費の4分の3以内で上限75,000円）や会場の提供などで応援しています。詳細はお気軽にお問合わせください。
※予定数に達した時点で受付終了

情報誌

年３回発行
（6月・12月・3月）

学習資料

中学生を対象にした自分を大切にする生き方を考える小冊子を作成予定

調査研究事業

男性を対象にした市民意識調査の報告書及びダイジェスト版を作成予定

- 相談室
- 図書コーナー
- 貸室案内
- まつやまファミリー・サポート・センター

詳細は P.8 をご覧ください

託児

講座等を受講される方を対象に託児を設けています。子ども一人につき200円・要申込。

お問合わせは…　コムズ　検索 http://www.coms.or.jp

松山市男女共同参画推進センター・コムズ

TEL 089-943-5777　FAX 089-943-0460

URL http://www.coms.or.jp

＊休館日　毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)、年末年始(12月29日～1月3日)

●コムズの事業案内は「広報まつやま」またはコムズホームページ、館内のポスター・チラシなどに掲載しています。
●日程が入っていない事業につきましては開催時期が変更になる場合もあります。

いざという時に備えて

地域の防災力を高めよう

～今、求められる女性のチカラ～

阪神・淡路大震災において、倒壊した家屋等から救出された人のうち約８割の人が、**家族や近隣住民によって救出された**といわれており、防災に果たす地域社会の役割は極めて大きいといえます。地域防災力を高めるためには、まずは**一人ひとりが自分にできることを考え行動していく**ことが大切であり、一方、地域は**個々の力を結集させる仕組みを作る**ことが重要な役割となります。

また、東日本大震災では、甚大な被害が発生する中、物資の提供や避難所運営において、さまざまな問題点が浮かび上がってきました。特に、「生理用品、おむつ、粉ミルクがない」「粉ミルクはあってもほ乳ビン、離乳食がない」「女性用下着や生理用品が届いても、男性が配布しているためもらいに行きづらい」といった切実な声が寄せられており、今後の防災計画において、**女性や生活者の視点を取り入れる**ことが求められています。

そこで今回、自主防災組織のリーダーとして、また防災士として日々精力的に活動していらっしゃる垣生地区自主防災会連合会 会長 三原輝久さんに、地域の防災力を高めるための取り組みと、防災現場で女性の力がどのように発揮されているか、お話を伺いました。

地域の人と人とのつながりを大切に活動！

垣生地区自主防災会連合会 会長　三原 輝久さん

平成20年11月　「垣生地区自主防災会連合会」設立
平成23年10月　垣生地区総合防災訓練を開催し、地域住民の11％にあたる約1,200名が参加
（通常、地区の防災訓練の参加率は5％）
平成24年４月　防災士数41名（うち女性2名）

一人ひとりの力を結集

垣生地区では、『災害対応時における協力申出書』を作成し、看護師や重機運転免許取得者などからの「技能の提供」、レジャーボートや井戸水の貸し出しなど「資機材の貸し出し」、ガソリンスタンドやスーパーマーケット等から「物品の提供」などの協力を申し出ていただく仕組みを作っています。

災害時、お年寄りや小さな子ども、病気を抱えた方などいわゆる災害弱者への対応には、ヘルパー、保育士、看護師など有資格者のお力添えが必要です。いざという時、有資格者の方々にご協力いただけるよう、日頃から戸別訪問による人材確保に力を注いでいます。

女性の視点を生かす

東日本大震災後の初めて取り組んだ総合防災訓練では、1,200人分のおにぎりと豚汁を作りましたが、どれくらいの大きさの鍋、釜が必要かなど、女性リーダー2人に備品の準備から食材の調達まで一連の流れを仕切っていただきました。

また、避難所運営マニュアルの作成においては、役員で原案を作った後、連合会の会合や各種団体の皆さんにご意見をいただきました。その際、女性から、①女性の着替える場所にはついたてを②授乳室が必要などの意見が出され、順次、マニュアルに修正を加えていきました。

初の開催！

女性防災士対象の研修会

松山市では、平成24年4月1日現在、766の自主防災組織があり、「自分たちの町は自分たちで守る」との強い意志の下、1,344名もの防災士が日々活動しています。

そのうち、女性の防災士数は83名。横のつながりをより深めるため、平成24年4月21日に初めて、女性防災士を対象にした研修会が防災センターで開催され、実体験として感じている課題やその解決のためにどのような対策をとればよいかなど、女性ならではの視点から活発な意見交換が行われました。

日々、地域に根ざした地道な活動をしておられる女性防災士の皆さんからのさまざまな意見をご紹介します。

若い世代に伝えるために

●学校のPTA行事を利用して、プールの開放前に、おぼれた時の助け方、人工呼吸の仕方、AEDの使い方など身近な防災意識を高める活動をすることで、より多くの人に災害時の対応方法を伝えることができます。

●一人で子育てをしている若いお母さん方を把握し、家庭訪問を行っています。その際、子育ての悩みなどの相談にも乗りながら、家庭内での防災対策のアドバイスをしています。

独居高齢者を支えるために

●転倒防止装置の設置には、男女ペアで訪問することで、独居高齢者にもスムーズな協力を得ることができます。

●「自分はどうでもいい」という方をいかに説得するか。「あなたを助けるために犠牲になる命もあるのだ」と何度も何度も伝わるまで説得することが大事です。

●日頃から地域の独居高齢者の様子を把握して、常に安否確認を心がけることが大切だと思います。

地域のつながりを構築していくために

●個人情報を気にするあまり、自治会にも所属しない人が増えているのが現実。そのような中で、自主防災組織を機能させるためには、普段からのコミュニケーションを心がけることが大事。「命が助かるかどうかの瀬戸際にプライバシー保護は二の次である」ことを理解してもらい、最低限の情報は発信してもらえるよう、女性ならではのきめ細やかな接し方で伝えることが大切だと思います。

Reporter's eye　―取材を終えて―

女性ならではの提案の数々を聴き、皆さんの責任感の強さと地域の防災力の高まりを感じました。
女性の最大の武器、それはコミュニケーション能力!!これが今後の新たな防災活動のキーポイントになりそうですね!

（市民リポーター　久保 洋美）

市民の活動
応援広場

コムズ ご利用ガイド

支える まつやま ファミリー・サポート・センター

育児または介護の“手助けをしてほしい人（依頼会員）”と“お手伝いしたい人（提供会員）”が、お互い会員となり助け合う組織です。

育児や介護でお困りの方は、安全安心のために登録してみませんか。また育児・介護のお手伝いをしたい方も募集中です。

まずは、お気軽にお電話ください。

開所時間　9：00～17：00
お問合わせ　TEL **089-945-1008**
報 酬 額　1時間700～900円程度

学ぶ 図書コーナー

生き方、仕事、こころ、教育・子育て、セクハラ・暴力、エッセイ・文学など約4,200冊を19分野に分けて配架しています。

貸出（お一人3冊まで。貸出期間2週間）には、カードが必要です。2階受付カウンターにてお申込みください。

利用時間　火～土曜日　9：00～20：30
　　日曜・祝日　9：00～17：00
休 室 日　毎月第４金曜日、休館日

話す コムズ相談室

その人のありのままの気持ちを受け止め、家族や社会の中で孤立することなく「自分らしく」生きていけるよう解決方法を一緒に探っていくお手伝いをします。まずは、お気軽にお電話ください。

女性相談（電話・面接）

電話相談・面接予約　TEL **089-943-5770**
　　●電話１回30分　●面接（予約制）１回50分
相談時間　火・水・金・土曜日　10：00～20：00
　　日曜日・祝日　10：00～16：00

男性相談（電話・面接）

電話相談・面接予約　TEL **089-943-5777**
　　●電話１回30分　●面接（予約制）１回30分
相談時間　毎月第２水曜日・第４土曜日　18：30～20：30
　　ただし、月により変更があるのでHP等でご確認ください。

託児付面接相談（予約制）

面接予約　TEL **089-943-5770**　●１回50分
相談時間　毎月第１土曜日・第３水曜日　10：00～12：00
託 児 料　子ども一人につき200円

集う 貸室案内

大小の会議室や調理室、多目的室などさまざまな部屋があり、市民のみなさんの学習や研修の場としてご利用いただけます。

コムズ登録団体になると、施設使用料が登録団体料金となり、2階交流コーナーにあるメールボックスが利用できます。

※登録要件あり。詳しくはお問い合わせください。

■施設概要（詳しくはHPにも掲載しております。）

室　名	定員	室　名	定員	室　名	定員
会議室1-1	12	会議室5	72	調理室（全室）	27
会議室2	36	大会議室	144	多目的室	23
会議室3	21	視聴覚室A	30	創作室	30
会議室4	12	視聴覚室B	30	和室	24

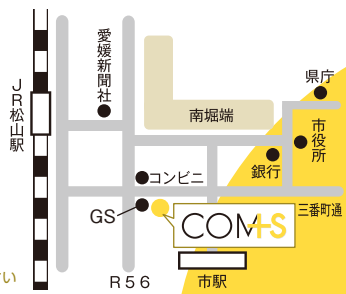
視聴覚室

多目的室

お問合わせ
総務係
TEL **089-943-5776**

松山市男女共同参画推進センター COMS（コムズ）

所 在 地　〒790-0003 愛媛県松山市三番町6丁目4-20
開館時間　火～土曜日 9:00～21:00
　　日・祝 9:00～17:30
TEL 089-943-5777　FAX 089-943-0460
E-mail coms@coms.or.jp
URL http://www.coms.or.jp

休 館 日　毎週月曜日（祝日に当たる場合はその翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）

交通
JR松山駅から
・電車「JR松山駅前」⇒「南堀端」下車（電車5分+徒歩5分）
・徒歩20分
松山市駅から　駐車場に限りがありますので公共交通機関をご利用ください
・徒歩10分